

シャンテル・マーティン プレスリリース

2003年にセントマーチン芸術大学において優秀な成績で学士号を取得、卒業して以来、シャンテル・マーティンは多方面においてクリエイティブな活動を続けている。
現在、日本を拠点に絵画の創作を中心に行き、また東京のみならず故郷のロンドンでも自身の作品を販売している。

「私のイラストは全てストーリーを持ちながらも、観る人がそれぞれ独自の自然な解釈をすることもできる作品です」とシャンテルは説明する。仕事にとりかかる時、意図を持たず、そしてあらかじめ計画を立てずに、その時々を感じるままに模様や輪郭の線を繰り返し描く。本能的かつ率直である彼女の作品は、彼女の感情を表現し、人々は作品を通して彼女が見えてくる。そしてある時は観る者に問いかけ、またある時は答えを与える。作品には多くの模様、描写が混ざり合い、観る者に視覚的刺激を与える。

数多くある彼女の興味深い創作における特性の一つに、最初は作品の一部分と思われるものが実は多くの線と模様から成り立ち、そしてそれが別の物へと変化しながら続いていくといった独特のスタイルで観る者が驚くような流れを作り、ストーリーの続きを追う楽しみを与えるというものがある。

シャンテルは「15Degrees」(台湾、台北)、「Future Map」(ロンドン、エンジェル)、「Shop03」(ロンドン、コペントガーデン)など世界各地で個展を開き、イラストを発表している。また、多くのアートイベントを催している南麻布のクラブ、スーパーデラックスにてMinimal Tokyo、Miss Apollo、Test Toneといったインターナショナルなオーディエンスが集うイベントにVJとして参加。演奏とともに彼女が絵を描くことによりオーディエンスが聞くことと観ることが同時に楽しめるという、クリエイティブなイベントとなった。

観た者がすぐに彼女の作品である認識できるほど彼女の作品は個性的である。彼女は創作範囲に制限を持たず、様々な事に挑戦する。最近では、2006年Tシャツ・セーターなどに彼女のイラストをプリントしたストリートウエアの秋冬コレクションをプロデュース。ロンドンの人気ショップBeyond The Valley (Newburgh ストリート)で独占販売され、シーズンが終わる前に完売となった。

プレスはシャンテルの作品に大きな関心を持ち、人気音楽雑誌「Luire」、ライフスタイル雑誌「Hidden Champion」では特集が組まれた。2006年には、雑誌社のThe Ecologistにロンドン本社の大規模な壁画の依頼をされた。

シャンテルは自身のイラストシリーズの制作活動、個人的に依頼された仕事などを続ける傍ら、ストリートウエアブランド「Carhartt」のキャンペーンの広告に参加、そしてロンドンのデザイン集団「The Chip Factory」とも作品をコラボレートする。現在、2007年秋冬物の製作に取りかかっている。このコレクションはシャンテルの作品をプリント、ディテールを駆使し、作りを追及した新しいセーターに焦点を絞ったものとなる予定である。

詳しい情報が知りたい方は、下記にお問い合わせ下さい。

TEL: +81(0)80-3652-0301

E-mail: shantellmartin@gmail.com

URL: www.shantellmartin.com